



▲4/11「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業 山車の乗車体験

4月

- 27日 議員懇談会(議員研修)
- 14日 総務文教常任委員会、
議会運営委員会
- 15日 民生病院常任委員会
- 16日 産業建設常任委員会
- 17日 広報委員会

3月

- 27日 議会運営委員会、全員協議会、
本会議、全員協議会
- 〔定例会〕
- 5日 本会議(代表質問)、
議会運営委員会、広報委員会
- 6日 本会議(一般質問)、議会運営委員会
- 9日 本会議(一般質問)、予算特別委員会
- 10日 総務文教常任委員会
- 11日 民生病院常任委員会
- 12日 産業建設常任委員会
- 17日 予算特別委員会
- 18日 予算特別委員会、議会運営委員会
- 19日 本会議、議会運営委員会

2月

- 2日 議会運営委員会
- 13日 議員懇談会
- 20日 議会運営委員会、全員協議会
- 9日・10日・13日・16日・17日
「議員必携」読破会

市議会のこうじき

代表質問

1 夏野市長の5期目4年間の政策、施策について



【自民創政会】
堀 義治 議員



問①▶ 夏野市長の5期目の初年度となる令和8年度においては、どのような視点で予算編成に当たったのか。また、新年度予算における重点事業について問う。

答①▶ 第3次総合計画の将来像の実現に向け、前期実施計画事業を着実に推進し、Well-beingの向上につながる施策を積極的に取り組むことを念頭に、予算編成に当たった。令和8年度の重点事業は、3つの予算特別枠を設定し、予算の重点化を図った。まず、「こどもまんなか社会実現」特別枠では、小中学校の給食費無償化に加え、学校体育館への空調設備整備事業など、学びの環境の充実を図り、「子育てするなら射水市」を実感できる施策を展開する。次に、「「選ばれるまち射水」創生」

特別枠では、ビジネス支援センター「Switch IMIZU」の運営のほか、新たに中小企業カーボンニュートラル推進事業による事業者支援に取り組む。また、いみず住まいづくり支援補助金による移住・定住施策のほか、災害時外国人支援ボランティア育成や女性活躍・DEI推進事業など、全ての世代が安心して働き、暮らせ

る生活環境を創生し、人口減少の抑制と本市の持続的な発展を目指す。3つ目の「震災復興、防災・減災」特別枠については、公共インフラ施設の復旧や港町地区における宅地液状化防止事業を推進し、一日も早い復旧・復興を図り、「災害に強いまちづくり」の実現に向け、全力で取り組む。

その他の質問

- DXビジョンの改訂について
- 公共施設マネジメントの取組について
- いみず地域共生プランの中間見直しについて
- 教育職員の働き方改革について
- 射水市民病院の経営状況について
- 射水市の観光戦略について
- 射水市都市公園等ストック再編について
- 今後の上下水道事業について



一般質問



澤村 理 議員



1 高齢人材の地域での有効活用について

問①▶ 老人クラブの加入者数等の推移と社会活動への参加促進について問う。

答①▶ 老人クラブの加入者数は、令和元年度には1万2千人を超えていたが、令和7年度は8千3百人余りまで減少している。市は老人クラブ連合会、地区老人クラブ連合会及び単位老人クラブの運営費などを継続して補助し、組織の運営や活動の活性化を支援している。こうした支援が、各種交流会やスポーツ大会等の実施につながり、老人クラブ加入者が興味関心を持って参加できるよう

取り組まれている。加入者数は、今後も減少傾向が続くと想定されるが、老人クラブは、高齢者の「生きがいづくり」「健康づくり」「仲間づくり」「地域づくり」に取り組まれており、地域における大切な組織であると認識している。引き続き、地域に根差す高齢者の集いの場、活躍の場の一つとして、今後とも維持できるよう継続して支援していく。

その他の質問

- 港町地区の液状化対策について
- 市民病院の経営状況について

代表質問



【いみず志政会】
加治 宏規 議員



- 1 射水市の次なる市制30年に向けての意気込みについて
- 2 カモン新湊ショッピングセンターについて
- 3 海王丸パークを中心とした射水ベイエリアの取組について

問①▶ 市制30年に向けた新たなまちづくりのビジョンをどのように描いているか。

答①▶ 全世代が幸せを実感できるまちの実現に向け、最重要課題の人口減少対策に加え、まちの活力や魅力の向上を加速させる。ベイエリアや小杉駅周辺など各エリアの特色を引き出すまちづくりを進め、その効果を市全域に波及させる。さらに、高等教育機関や若者の活力を生かした地域の活性化に取り組むとともに、防災、産業振興、子育て、福祉などの施策を総合的に展開し、市民が誇りや愛着を持って安心して暮らし、市外からも魅力的なまちとなるよう取り組む。

問②▶ 解体に伴う事業費の内訳を問う。

答②▶ 解体費用は、実施主体である所有者と解体業者との契約行為によ

り決定することから、市では予算計上にあたり、当該施設の延床面積に国の補助基準単価を乗じた4億3千万円あまりを事業費として助成額を算定している。内訳は、当該施設の所有者が3分の1を負担し、残りの3分の2を国の補助金とあわせて市が助成する。また、県に財政支援を要望しており、県からの支援が得られれば、本市の負担額は約1億2千万円程度となる見込みである。

問③▶ 帆船海王丸の大規模修繕を契機とした海王丸パークの取組について問う。

答③▶ 開園から33年経過し、老朽化が進み、利用者のニーズも多様化していることから、リニューアルが必要であり、本市の重点事業として県に要望している。今年度県は民間活力導入に向けた事業者へのサウン

ディング調査を実施するなどの取組も進められている。引き続き、海王丸パークを中心とした射水ベイエリアの魅力向上に取り組んでまいる。

その他の質問

- 能登半島地震からの復旧復興対策について
- 射水市子ども計画について
- 除雪体制、消雪設備について
- 射水市認知度向上への取組について
- 射水市ビジネス支援センター「Switch IMIZU」について
- 耕作放棄地について
- 放生津八幡宮祭の曳山・築山行事ユネスコ無形文化遺産登録について

一般質問



津本 二三男 議員



1 加齢性難聴に対する取組について

2 庄川上流(岐阜県六ヶ)の産業廃棄物処分場建設計画について

問①▶ 加齢性難聴についての啓発が大事だと考えるがどうか。また、難聴が軽い段階からの補聴器装着を奨励するため、購入補助制度を導入されたい。

答①▶ 令和8年度から100歳体操や介護予防教室などで耳と聞こえの健康に関する出前講座の開催を予定しており、今後積極的に啓発していく。補聴器購入補助については、調査・研究していく。

問②▶ 水道水源の上流に産業廃棄物処分場を建設すべきではないと考える。高山市のように、建設反対の姿勢を明確にし、行動するよう求めたい。

答②▶ 建設計画地の高山市が反対の意思表示をされ、本市としても重く受け止めている。今年2月には流域6市村で情報共有を図りながら協議し対応していくことを確認した。引き続き、建設を不安に思う方々に寄り添いながら、高山市の動向及び岐阜県の手続きの進捗状況を注視していく。

その他の質問

- 賃上げを進めるための、市内中小企業・小規模事業者への支援策について
- 国民健康保険の市の減免制度について

代表質問



【自民議員会】
奈田 安弘 議員



1 夏野市政5期目の運営について

2 防災・減災体制の強化について

3 市民病院の目指すべき方向性について

問①▶ 夏野市政5期目の運営について問う。

答①▶ 市長として、多選の弊害と言われる「慣れ」や「停滞感」が生じないよう、これまで以上に努め、前例踏襲にとらわれることなく、チャレンジし続けていく。職員人事については、能力・実績に基づく人事管理の実現と、職員のスキルや経験を踏まえた適材適所の人材配置に努める。

問②▶ 豪雨対策について問う。

答②▶ 和田川浸水対策については、令和8年度早々に実施設計業務を発注するとともに、河川管理者との協議を進め、非取水期となる秋以降、水門施設改良工事に着手したい。また、庄川と和田川の合流点処理につ

いては、利賀ダムの建設促進をはじめとした国・県・市および関係事業者一体で取り組む「庄川水系治水プロジェクト」を進めるとともに、引き続き重点事業として、国・県へ要望していく。

問③▶ 市民病院の目指すべき方向性について問う。

答③▶ 診療報酬の改定については、新たな施設基準や加算の取得など適

切に対応していく。また、4月に富山大学附属病院から2名の総合診療医が派遣され、内科医師として勤務する。総合診療医は複数の慢性的な疾患を抱えている患者を包括的に診ることで、効率的かつ患者に寄り添った医療を提供することが可能となる。今後も急性期から回復期までの医療を幅広く提供していく。

その他の質問

- 衆議院議員総選挙の結果について
- 少子高齢化・人口減少社会における若者、女性、高齢者への施策について
- 地方制度調査会における制度改革について
- 県立高校の再編について
- 港湾機能の強化について

一般質問



井相田 礼子 議員

1 不登校児童生徒の支援について

問①i▶ 全国的に学校に行きづらいうちの子が増加している。市の現状を問う。

答①i▶ 令和6年度の30日以上欠席している児童生徒数は小学校が79人、中学校では128人で国、県より低位である。

問①ii▶ 市の支援内容の具体例を問う。

答①ii▶ 各校では担任や児童生徒が指名するマイサポーターが声かけや面談を行い、スクールカウンセラーなどと連携し、子どもや家庭への支援に努めている。教室に入りづ

らい児童生徒向けに校内教育支援センターも整備しており、令和8年度には10校に拡充予定である。また市教育支援センター「いみずの」で学習支援等を行うほか、フリースクール等の子どもたちの居場所となる場の情報提供にも努めており、引き続き、その子に合った多様で適切な教育機会の確保に努めてまいる。

その他の質問

- 歌の森運動公園について
- 地区防災計画について

一般質問



石田 勝志 議員

1 独居高齢者の孤立防止と持続可能な見守り体制の構築について

問①i▶ 制度や地域と「つながらない人」への認識と対応について問う。

答①i▶ 支援につながらない高齢者がいることは認識しており、孤立を防ぐ取組として地域包括支援センターによる訪問や重層の支援体制整備事業により、信頼関係を構築する中で本人の意思を尊重しながら伴走的な支援を行っている。

問①ii▶ 今後増加が懸念される孤立死について、市はどのような問題意識で取り組むのか。

答①ii▶ 孤立死は高齢者の尊厳に

関わる重要な課題であり、未然防止と早期発見につなげるため、自助・互助・共助・公助の連携による持続可能な見守り体制を構築し、地域全体で支え合うことで孤立を防ぐよう各種取組を進めていく。



その他の質問

●介護人材確保に対する市の基本的な考え方と対策について

一般質問



長田 定克 議員

1 新湊中央文化会館について

2 カモン新湊ショッピングセンター解体について

問①▶ 新湊中央文化会館の位置付けと文化施設集約の進め方について問う。

答①▶ 同館は大小2ホールを備える県内有数の施設であり、市内外から利用される芸術文化活動の拠点と認識している。文化施設の集約については、新設・大規模改修・民間活力の活用・複合化など様々な整備手法を検討する。令和8年度から施設の劣化状況や改修費、利用実態などを調査して整備パターンをとりまとめ、議会、市民

へ情報提供し、意見を聞きながら検討を進める。

問②▶ カモン新湊ショッピングセンター解体への支援内容と今後の見通しを問う。

答②▶ 耐震診断が義務付けられた大規模建築物の耐震診断、耐震改修及び解体費用を国と地方が助成する事業を活用し、解体費の一部を支援する。解体時期などの詳細は、所有者との補助金申請に伴う事前協議の中で把握していく。

一般質問



岩口 久梨果 議員

1 生理の貧困に対する射水市での取組について

2 行方不明となった認知症高齢者の対策について

問①▶ 女性が生理に関する悩みを安心して相談できる窓口の環境づくりについて見解を問う。

答①▶ 本市の相談窓口については、生理に係る経済的負担、体調不良や心理的負担など相談者の状況に応じて社会福祉課、こども家庭センター、保健センター等で相談を受けている。いずれの機関においても相談者の状況等に配慮し、個室の相談室を利用したり、保健師や社会福祉士などの専門資格を有する女性職員が対応したりするなどきめ細やかな相談体制を整えている。

問②▶ 射水市どこシルプラス事業の認知度向上に向けた取組について問う。

答②▶ 今後は認知度向上に向けコミュニティバスのデジタルサイネージ*活用やポスター掲示を行うなど、地域の見守り体制の強化につながるよう一層の周知啓発に努める。

その他の質問

●医療的ケア児支援事業について

一般質問



杉浦 実 議員

- 1 地震被害想定調査及び相互応援協定について
- 2 海竜スポーツランドの移転新築について

問①i▶ 相互応援協定の締結に対する市の準備や体制を問う。

答①i▶ 県から災害時に派遣される情報連絡員(リエゾン)*を活用した情報共有方法の確認など、迅速な応援要請体制の確立や関係機関との円滑な連携強化に努める。

問①ii▶ ボランティア組織の受入体制の整備について問う。

答①ii▶ 市社会福祉協議会と災害時のボランティア活動に関する協定を締結している団体が構成される、災害ボランティア連絡会に市も参加しており、引き続き市社会福祉協議

会と連携しながら、ボランティアの受入体制の整備に努める。

問②▶ 海竜スポーツランドの移転新築について問う。

答②▶ 早期に整備の方向性、施設の目的やコンセプト、財源の確保等の課題を整理し、民間事業者の意見も参考に、ベイエリアの賑わい創出及び市民が利用しやすい施設となるよう引き続き整備の在り方について検討を進める。

その他の質問

- 2026年観光戦略について

一般質問



古田 逸宏 議員

- 1 本年4月からの「のーと射水」等運行事業について
- 2 「ゼロカーボンシティいみず」推進事業について

問①i▶ 一方通行の道路への「のーと射水」乗降場所の増設は可能か。

答①i▶ 国が定める基準及び他の乗降場所が半径300メートル以内でない等の条件を満たせば可能である。

問①ii▶ 乗降場所における屋根・ベンチの設置について問う。

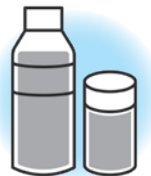
答①ii▶ ベンチに対する支援制度創設を検討中であり、準備が整い次第、各地域振興会等に周知したい。

問②i▶ 環境ポイント事業について問う。

答②i▶ 参加対象者の拡大や取組内容の充実により参加者の増加を図り、家庭における脱炭素の取組推進を図る。

問②ii▶ マイボトル運動の取組について問う。

答②ii▶ 市内の公共施設7か所及び全公立小中学校への給水器設置やアプリへの参画を通じ、マイボトルの利用を促進し、使い捨てプラスチックの削減を図り、環境意識の啓発に努める。



一般質問



上野 進 議員

- 1 射水市の魅力向上と観光振興及び関係人口の増加について
- 2 部活動の地域展開について

問①▶ 富山新港東埋立地Cポンドの無害化技術の検討状況と東部地区の観光振興への影響について見解を問う。

答①▶ 県は国へ継続して無害化処理を強く要望している。Cポンドは港湾緑地として活用されていない状況であるが、周辺には地域の活性化に繋がる施設が集積しており、観光振興が図られていると考えている。

問②i▶ 受け皿の整備状況について問う。

答②i▶ 43の地域クラブが受け皿になり、休日に活動を行っている。種目特性や参加人数に応じ、学校ごと、或いは複数校の部活動が1箇所また

は複数箇所に集まり活動している。

問②ii▶ 指導者の教育的指導の確保について問う。

答②ii▶ 指導者には、教育的指導についても真摯に対応していただいている。今後は国が示す認定要件等に基づき、本市が地域クラブ活動に関する認定を行う。認定要件の一つとして、適切な指導実施体制の確保が挙げられ、生徒が安全・安心に活動できるよう取り組んでいく。

その他の質問

- 市の公共施設で提供する給食におけるHACCPに沿った衛生管理の取組について

一般質問



大垣 友和 議員

- 1 物価高騰支援及び消費喚起事業について
- 2 小学校水泳授業の外部委託について
- 3 外国人材の確保における全産業への支援拡大について

問①▶ 物価高騰支援とデジタルデバインド対策について問う。

答①▶ 1万円で1万3千円分使える電子商品券約5万口を、6月と10月の2回に分けて販売する予定である。デジタルデバインド*対策としては、サポート窓口の設置やレンタルスマホの貸出しを行うほか、今まで以上に利用者に寄り添うサポート体制の構築について事業主体と協議している。

問②▶ 小学校の水泳授業について問う。

答②▶ 猛暑や学校プールの老朽

化に対応するため、屋内プールを活用した業務委託を順次進め、今後学校プールの改修は行わない方針である。

問③▶ 外国人材活用支援策について問う。

答③▶ 既存の国・県の支援策の周知のほか、先進事例や県内各市の状況を参考に調査研究したい。

その他の質問

- 射水市企業団地の適地調査結果について

一般質問



西尾 哲 議員

- 1 万葉線の安全確保と市民生活を守る運行体制の強化について
- 2 手話施策推進法の施行を契機とした共生社会の実現について
- 3 「二十歳のつどい」開催時期の見直しについて

問①▶ 万葉線脱線事故や架線凍結による運休を踏まえた対策を問う。

答①▶ 安全対策の徹底、代行輸送の確保、情報発信の改善等を万葉線、高岡市と連携し取り組む。

問②▶ 射水市障がい者基本計画等への反映について問う。

答②▶ 「第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画」の策定において、市民の手話に対する理解と関心を深める必要性について考慮し、市障がい者総合支援協議会等の意見を踏まえ、手話施策の

充実を図ってまいる。

問③▶ 市民や若者から「5月4日の射水市単独開催日では、他市の友人と交流できない」等の声があることについて問う。

答③▶ 1月開催時と比較し、参加率に影響はないものと考えており、引き続き、参加しやすく満足度の高い式典となるよう取り組む。

その他の質問

- 子どもたちをデジタル社会の危険から守る情報モラル教育の推進について

POINT 市議会だより用語解説

代表質問・一般質問における用語を解説しています。

デジタルサイネージ ▶P5

液晶やLEDディスプレイなどの電子表示機器を用いて、動画や音声を含む多様なコンテンツをリアルタイムで表示できる情報発信システム



リエゾン ▶P6

災害発生時に被災自治体の災害対策本部に派遣され、被災地の状況把握や支援ニーズの収集、関係機関との調整を行う専門職員

デジタルデバインド ▶P7

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差



総務文教常任委員会

議案4件及び報告1件を可決(承認)すべきものとし、所管事務について5件の報告を受けました。

射水市田中基金条例の制定について

(議案第15号)

子育て環境の充実、未来を担う人材の育成等を通じた魅力あるまちづくりに資するため、田中産業株式会社及び関係会社等からの寄附金をもって、射水市田中基金を設置するため、新たに条例を制定するもの。

問 条例制定の経緯を問う。

答 射水市制20周年記念式典で田中産業株式会社を市政特別功労者として表彰したことにあわせ、これまでの功績を広く顕彰するため、基金を設置することとした。

問 令和8年度当初予算では、田中基金をどのように活用する予定か。

答 大島中央公園にインクルーシブ遊具を設置することとしている。

民生病院常任委員会

議案14件を可決すべきものとし、所管事務について10件の報告を受けました。

射水市犯罪被害者等支援条例の制定について

(議案第16号)

犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復及び軽減を図るとともに、犯罪被害者等を社会全体で支え、もって市民が安心して暮らすことができる社会の実現を図るため、新たに条例を制定するもの。

問 条例制定に併せて、新たに実施する支援メニュー等はあるのか。

答 条例制定に併せて、新たに実施する支援メニュー等はないが、これまで必要必要な支援や不足しているメニュー等があれば追加してきており、今後も、同様に対応することとしている。



産業建設常任委員会

議案6件を可決すべきものとし、所管事務について9件の報告を受けました。

移住・定住の促進に係る補助制度の見直しについて

本市への移住・定住をさらに促進するため、新築住宅取得の補助上限額の引上げや、中古住宅取得を支援し、空き家の未然防止・利活用促進を図るもの。

問 移住・定住に関する今後の目標及びこれまでの実績を問う。

答 第5次射水市行財政改革集中改革プラン(令和7年度改訂版)において、令和9年度の移住者数300人を目標値に掲げている。

令和7年度の移住者の実績としては、県外から96人、県内から267人、合計363人で過去最多となっている。

現状に甘んずることなく、より多くの方々に移住してもらえよう、様々な事業を常にブラッシュアップしながら取り組んでいきたい。

予算特別委員会

令和8年度

射水市一般会計予算

(議案第1号)

歳入歳出の予算総額をそれぞれ473億6千万円とするもの

主な事業

- 学校給食費無償化
- 都市公園遊具等設置
- 学校体育館への空調設備整備
- こども電子図書館整備
- 「のーと射水」等運行
- いみず住まいづくり支援補助金
- 「ゼロカーボンシティいみず」推進事業
- 「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業
- デジタル防災行政無線システム更新実施設計
- 和田川浸水対策(水門施設改良工事)
- 宅地液状化防止対策

質問者及び質問項目

3月9日
(予算説明)



日程	質問者	主な質問項目
3月17日 	加治 宏規 委員	①建築物耐震対策緊急促進事業費について ②宅地液状化防止事業について ③副業や給与について ④旧宮林家について
	大垣 友和 委員	①オーガニック野菜等生産拡大支援事業補助金について ②消防団員確保と燃料費支援について
	古田 逸宏 委員	①「凧文化継承事業」について ②「新・越中だいまもん凧まつり」について
	岩口久梨果 委員	①万葉線の利便性向上に向けた取組について ②海王丸パーク周辺の回遊性向上について ③若者世帯定住促進家賃補助事業について ④福祉人材就労定着緊急支援事業について
	上野 進 委員	①海竜スポーツランドについて ②足洗潟公園の維持管理について
	石田 勝志 委員	①海王丸の歴史的資料と平和へのメッセージの発信強化について ②小学校の放課後開放について今後の見通しやビジョンについて
	金 賢志 委員	①子育て支援アプリ導入について ②ゼロカーボンシティいみずに関連する「J-クレジット」の取組について ③指定野菜について ④地域計画及び白地農地について
	吉野 省三 委員	①学校体育館の空調設備工事の工事計画について ②海王丸の大規模修繕と建造100年を記念したイベント開催等について ③令和8年度射水市病院事業会計予算実施計画について
	津本二三男 委員	①図書館窓口業務委託について
3月18日 	長田 定克 委員	①子育て支援について ②DXの推進について
	山崎 晋次 委員	①道路橋梁維持費について ②道の駅まるごと射水について ③学生・若者の市内での住まいについて ④さらなる観光施策推進に向けての市民のおもてなしの心醸成について
	澤村 理 委員	①令和8年度地方交付税交付金について ②地方創生推進費について ③婚活事業について
3月18日	津田 信人 委員	①「誰もが夢をカタチにできる人流イノベーションシティ射水創造プロジェクト」について ②市民病院に勤務いただく総合診療医師について ③地域支援事業について
	杉浦 実 委員	①全国万葉故地サミット射水市大会の開催について ②空き家実態調査について ③日本橋とやま館射水市PR事業について ④コミュニティバス運転手不足対策について



- 主な事業**
- 新湊放生津小学校改修
 - 大島中央公園遊ぼう館空調設備等設置
 - 堀岡小学校屋根防水工事
 - 大島絵本館館内放送設備更新
 - 新湊総合体育館受電設備修繕

歳入歳出にそれぞれ24億2126万4千円を追加し、予算総額を531億844万5千円とするもの

**令和7年度
射水市一般会計補正予算
(第6号)
(議案第8号)**

予算特別委員会

質問者及び質問項目

3月9日
(予算説明)



日程	質問者	主な質問項目
3月17日 	山崎 晋次 委員	①新湊放生津小学校整備費について
	加治 宏規 委員	①妊婦のための支援給付交付金について ②不妊治療等助成費について ③住宅用太陽光発電システム設置補助金について
	長田 定克 委員	①射水市民病院の運営状況と今後の対応について

《議員別賛否一覧／賛成と反対の双方があった議案について掲載》

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	議決結果		
議員名	岩口久梨果	長田定克	井相田礼子	上野進	古田逸宏	石田勝志	大垣友和	西尾哲	金賢志	杉浦実	加治宏規	澤村理	津本三三男	中村文隆	山崎晋次	吉野省三	津田信人	堀義治	奈田安弘	高橋久和			
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	※	可決	
議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※	可決

○…賛成 ×…反対 ※…議長は採決に加わりません。

活動の記録

「議員必携」読破会を開催しました

議会及び議員に求められる役割を正しく理解するとともに、議員一人ひとりの活動基盤の充実・強化を図る観点から、議員のためのルールブックとも言われている「議員必携」(発行元 全国町村議会議長会)を2月9日、10日、13日、16日、17日の5回に分けて読破しました。



防災訓練

(オンライン委員会)を開催しました

2月20日(金)、自然災害等の発生、重大な感染症の流行等により、議員の参集が困難な場合に備え、議会運営委員会をオンラインで開催する防災訓練を実施しました。



議決結果一覧表

[議案]

番号	件名	結果
第1号	令和8年度射水市一般会計予算	可決
第2号	令和8年度射水市国民健康保険事業特別会計予算	可決
第3号	令和8年度射水市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決
第4号	令和8年度射水市介護保険事業特別会計予算	可決
第5号	令和8年度射水市水道事業会計予算	可決
第6号	令和8年度射水市下水道事業会計予算	可決
第7号	令和8年度射水市病院事業会計予算	可決
第8号	令和7年度射水市一般会計補正予算(第6号)	可決
第9号	令和7年度射水市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
第10号	令和7年度射水市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	可決
第11号	令和7年度射水市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
第12号	令和7年度射水市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
第13号	令和7年度射水市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決

番号	件名	結果
第14号	令和7年度射水市病院事業会計補正予算(第3号)	可決
第15号	射水市田中基金条例の制定について	可決
第16号	射水市犯罪被害者等支援条例の制定について	可決
第17号	射水市行政手続条例の一部改正について	可決
第18号	射水市介護保険条例の一部改正について	可決
第19号	射水市家庭的保育事業等及び乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第20号	射水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
第21号	射水市火入れに関する条例の一部改正について	可決
第22号	射水市火災予防条例の一部改正について	可決
第23号	財産の取得について	可決
第24号	野手埋立処分所拡張整備工事請負契約について	可決
第25号	指定管理者の指定について	可決
第26号	行政組織の改編に伴う関係条例の整理について	可決

[報告]

番号	件名	結果
第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度射水市一般会計補正予算(第5号))	承認
第2号	専決処分の報告について	—

[同意]

番号	件名	結果
第1号	副市長の選任について	磯部 賢 同意

[諮問]

番号	件名	結果
第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき 旨答申
第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき 旨答申
第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき 旨答申

[その他]

番号	件名	結果
	議会運営委員会及び各常任委員会の閉会中の継続審査	可決

議員研修

(議員懇談会) を開催しました

3月27日(金)、法政大学法学部土山希美枝教授を講師に招き、「質問力を高める 議会力にいかす」というテーマで議員研修を行いました。一般質問の機能などについて講義後、付箋を使った双方向の質疑応答により、疑問点についてわかりやすく解説していただきました。



行政視察を受け入れています!

射水市議会では、各種事務事業について議会関係者の皆様の行政視察の受け入れを行っており、令和7年度は下記の皆様が当市議会を訪れました。



視察日	団体名	人数	テーマ
7月2日	静岡県牧之原市議会 文教厚生委員会	11	子どもの権利支援センター「ほっとスマイル」について
7月9日	島根県雲南市議会 産業建設常任委員会	7	老朽空き家対策について
7月24日	神奈川県小田原市議会 議会広報広聴常任委員会	7	議会報告会について
7月29日	埼玉県加須市議会 令和会	9	PFIを導入した都市公園について
7月30日	東京都江東区議会 参政・無所属クラブ	4	能登半島地震の災害廃棄物処理の取組について
8月6日	埼玉県入間市議会 福祉教育常任委員会	13	グリーンパークだいまんスケートボード広場について
10月7日	山形県上山市議会産業厚生常任委員会	8	認知症サポートについて
10月10日	茨城県結城市議会 総務委員会	10	DX推進ビジョンについて
10月15日	兵庫県たつの市議会 総務生活常任委員会	8	公共施設包括管理業務委託について
10月16日	高知県四万十市議会 産業建設常任委員会	10	液状化の対応・対策について
10月21日	埼玉県深谷市議会 総務委員会	9	内川官民連携まちづくりについて
10月22日	新潟県燕市議会 会派創成	8	大島絵本館について
10月27日	茨城県ひたちなか市議会 新生ふるさと21	5	公共交通政策について
10月30日	福井県大野市議会 こども政策・公共施設等改革特別委員会	8	民間提案事業について
11月6日	北海道深川市議会 総務経済常任委員会	8	もみ殻循環プロジェクトについて
1月7日	埼玉県さいたま市議会 超高齢社会に向けた公共交通の在り方検討特別委員会	14	「のるーと射水」等について
3月25日	茨城県水戸市議会 政和維新、国民民主党みと	5	フットボールセンターについて

- 広報委員会 [委員長] 吉野 省三 [副委員長] 杉浦 実
[委員] 石田 勝志、大垣 友和、西尾 哲、金 賢志、高橋 久和

6月定例会は、 6月9日(火)から始まります

会期日程は、決まり次第ホームページに掲載します。

詳しくは、議事調査課(TEL 51-6610)までお問い合わせください。



傍聴者数

3月定例会
本会議…19人
委員会…12人
合計31人

皆さんの傍聴をお待ちしています。
ご希望の方は、議会開催日に本庁舎5階議会事務局までお越しください。